

活動名: 第12回福島空港公園杯少年フットサル大会

日 程: 平成30年10月13日~14日

会 場: 福島空港公園緑のスポーツエリア

クラス: L100年生 計8名

チーム名: FCAllez Lグリーン

帯 同: 熊坂コーチ

結 果: 優勝/16チーム中

報 告: 熊坂

10月13日、14日に福島空港公園で開催されました第12回福島空港公園杯少年フットサル大会に参加しました。

この大会は設楽コーチが勤務している福島県都市公園緑化協会様が主催する大会です。FCアーレも運営に協力するいわば自前の大会になります。ありがたい事に今年も3チームの枠を頂きました。

コーチ会議の結果3チームの構成は以下の通りに決まりました。

アーレL100グリーン

(L100クラスの6年生)

アーレL100ブルー

(L100クラス5・4年生+Tクラス6年生男子)

アーレT

(Tクラス5年生+G5・6年生+4年生選抜)

私はアーレL100グリーンを担当しました。

初日・予選リーグ

アーレ 4-0 行健

アーレ 5-2 桜

アーレ 11-0 岩根B

## ※1位通過

今年初めてのフットサル大会でしたので木曜日の特練で少しでも動きや攻撃の形を練習しました。木曜日に参加出来なかった選手には朝のミーティングで伝えました。

一夜漬けなので実戦でチャレンジする事は難しいと思っていましたが私の予想を良い意味で裏切って果敢にチャレンジしてくれました。

大会の度に感じる事ですが選手達の理解力の高さに驚かされます。また大会の緊張に負けずにチャレンジする姿はとても勇気があり頼もしく感じました。

2試合目の桜さんとの試合では前半に3点先制する最高の立ち上がりでしたがミスから失点、そして立て続けに失点し、3対2で前半が終了しました。ハーフタイムにベンチへ戻ってきた選手達は勝っているのに負けているような表情でした。内容は全く悪くなく、少しの時間集中が途切れて失点してしまっただけなので、もう一度集中し直して戦えば問題ないと私は思っていたのですが。メンタルが心配でしたが後半はしっかりと集中してくれて勝利してくれました。

相手の勢いに飲み込まれずに試合の中で立て直せたという部分では選手達の成長を感じる事が出来ました。

## 2日目・決勝トーナメント

アーレ 2-0 岩根A

### 準決勝

アーレ 6-0 守山

### 決勝

アーレ 3-1 川俣

1試合目の前に選手達に目標を聞いたところ「優勝」「5連覇」という言葉が返ってきました。

同時に「緊張する？」と尋ねたら「緊張する」と返ってきました。

負けたら終わりの決勝トーナメント、緊張して当然です。しかし緊張に押し潰されて自分のプレーが出来なければ後悔しか残りません。

優勝を考えずに目の前の試合に集中する事、試合開始から相手に圧力をかけて

自分達のペースに持ち込む事を伝えて試合に臨みました。

狙い通り試合開始から激しいプレーでペースを握ってくれました。幾度となくチャンスを作りましたがボールが枠に飛ばなかったり、相手GKのファインセーブにあい前半は0-0で折り返しました。

試合のペースは握れているので2人だけの攻撃ではなく、もう一人絡んで攻撃に厚みを持たせる事、1回のシュートでは決まらないのでこぼれ球を狙ってゴール前にしっかり詰める事を確認して後半に臨みました。

後半も積極的に仕掛けてくれて待望の先制点を奪ってくれました。その後も攻撃を緩める事なくPKで追加点を奪って試合を決めてくれました。

今までですと中々得点が入らないとイライラして自滅する事がありました。しかしこの試合ではイライラする事なく冷静に戦ってくれました。ここでもまた成長を感じる事が出来ました。

準決勝前のミーティングでは1試合目の反省点を伝えました。試合のペースを握りながら決定機を決められず苦しい試合になってしまったので、準決勝ではペースを握るだけでなく決定機をしっかり物にする。またフィールドプレーヤー全員が得点への意識を高く持ち、「必ず決める」という強い気持ちを持ってシュートを打つ事を約束しました。

1試合目の苦戦がいい薬になったのか準決勝は完璧な内容でした。先制点、追加点を奪い前半を3対0で折り返し、後半も緩める事なく最後まで全力で戦い3点を追加して勝利してくれました。決勝戦に勢いがつく最高の試合をしてくれました。

決勝前はアップよりミーティングに時間をかけました。私からは守備の約束事と闘争心を掻き立てる事を意識した話をしました。また連覇などは気にせず、自分と仲間や家族の為に「勝とう」と伝えました。選手達の目つきが変わり気合いが入っているのが伝わってきました。

そして最後に設楽コーチから話をしてもらいました。決勝前にはいつもお願いしているのですが設楽コーチは本当に凄い人です。アーレコーチの私がいうのも何なんです。

選手達の心を見抜き前向きなアドバイスで選手達の表情を変えてくれます。適度な緊張感と適度な自信で最高の精神状態を演出してくれました。

そして固い(痛い?)握手で闘魂注入!

見ている私が鳥肌が立ってしまいました。

準備万端で迎えた決勝戦。

ミーティングで打合せした事をひた向きに頑張ってくれました。体を張って必死に食らいついてくれました。我慢、我慢の連続でしたが本当に良く耐えてくれました。

そして待望の先制点を奪ってくれて、前半を1対0で折り返しました。

ハーフタイムには守りに入らずにボールを奪ったらゴールを狙いにいく事を伝えました。

12分間守り切るのは難しいので、逆に攻撃する事で相手の攻撃を抑えたいと考えました。

私が言うまでもなく選手達は全く引くつもりもなく後半も得点への意識を高く持ってプレーしてくれました。運動量もかなり要求されかなり疲労もあったと思いますが足を止める選手はいませんでした。この試合にかける想いの強さを感じました。

気迫の部分で相手を上回れた結果、追加点をあげてくれました。

3得点の後に失点してしまいましたが、選手達は気落ちせず、集中力も切らさずに最後まで戦ってくれました。

「死闘」を制して見事に優勝を飾ってくれました。試合終了後に涙する選手達。

連覇へのプレッシャー、緊張からの解放、死闘を制した満足感、優勝の喜び、色々な感情から溢れた涙なのではないかと思います。

その涙に私も感動させられました。

本当に凄い選手達です！！

選手の皆さん、優勝おめでとうございます！

この優勝は自分達力で勝ち取った優勝です。

大きな自信に繋がる大会になりましたね。

そして最高の涙をありがとう！

皆さんの全力を出し切り目標を達成した時の喜びの笑顔の先にある涙を見る事が出来て指導者としてとても幸せです。

この大会での経験を生かして次の目標に向かってまた頑張りましょう！  
更なる成長を楽しみにしています。

最後に「感謝」だけは忘れないで下さい。  
決勝戦前のアップではブルーやTの選手達が率先してみんなの為にボール拾い  
をしてしてくれていました。また試合中も大きな声で応援してくれました。大切な  
仲間達への感謝を忘れないで下さい。  
またご家族の応援も心強かったですよね。  
ご家族の支えと協力があって皆さんはサッカーが出来ます。ご家族への感  
謝も忘れないで下さい。

福島県都市公園緑化協会様

素晴らしい大会を開催して頂きありがとうございました。最高のピッチで試合  
が出来る選手達はとても幸せです。  
これからも子供達の為に大会の継続をお願いします。

ご父兄の皆様へ

選手を参加させて頂きありがとうございました。  
今回はフットサルという事で3チームに分かれましたが全てのチームを応援し  
て下さるご父兄の皆様にあーしの絆を感じました。3チーム全てへの応援あり  
がありがとうございました。  
3チーム全てが納得いく結果とはいきませんでした。選手一人一人は力を出し  
切ってくれました。ご父兄の皆様を支えて頂いたお陰です。感謝致します。

運営もあり指導者だけでは回らない部分もありましたがご父兄の皆様のご協力  
により無事に大会を終える事が出来ました。  
ありがとうございました。

これからもアーシにご理解を頂き、応援・協力をお願いします。

コーチ 熊坂













